

初段

硬筆検定試験問題（60分）（第102回 令和3・7）

※各問の出典の記入は自由とする。

問一 次の文字を、楷書・行書の二体で書きなさい。

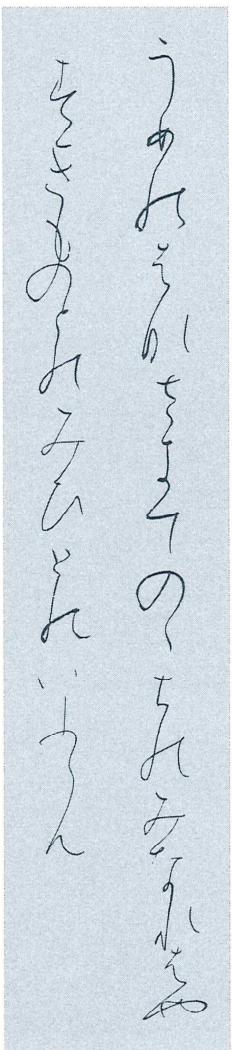
春 山 朝 遇 雨

問二 次の曹全碑を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。



（易世載德不）

問三 次の高野切第三種を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。



（うめのはなさきてのゝちのみなればや／すきものとのみひとのいふらん）

問四 次の文章を、漢字は行書、または草書で、調和よく書きなさい。

だから美の道はこう教えている。何を作るにしても、材料や工程の性質に逆らつてはいけない。その制約を不自由とは呼ぶが、それがかえつて美を厚く保ってくれるのである。その不自由さが、自ら招く形なり模様なりを、素直に受け取ればいい。それなら美しさに間違はない。

（柳宗悦の文章より）

問五

次の□内の掲示文を問五解答用紙に、位置・文字の大小を考え、フ・エ・ルト・ベンか、筆・ペンで書きなさい。（縦・横自由、数字は算用数字・漢数字どちらでもよい）

- 期日 令和三年七月二十三日（金）
- 会場 宮崎市民文化ホール
- 第五回 高校生文化発表会
- 主催 宮崎県高等学校文化連盟
- 後援 宮崎県教育委員会